

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立 日進中学校

- 学校教育目標 「学ぶ生徒」「誠実な生徒」「鍛える生徒」
 校訓 「進取勤勉」(自ら進んで、すべてのことに一心に励む)
 「学ぶ生徒」 学習に主体的に向き合う生徒 → 「磨く」
 「誠実な生徒」 人間関係を大切に作る生徒 → 「輝く」
 「鍛える生徒」 ねばり強く心身を鍛える生徒 → 「磨く」

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校

■所在地：さいたま市北区櫛引町 2-503-1 ■電話：048-663-1251
 ■FAX：048-663-0834 ■交通：JR川越線「日進駅」より徒歩17分又は、
 ニューシャトル「鉄道博物館駅」より徒歩10分

01 保健(生と性の学習)



本校では、自分の性を受け入れ、命の尊さを学び、自分と相手を大切に思い合える生徒の育成を目指して、「生と性の学習」を行っています。学区内の開業医院から講師を招き、生徒に命や性について正しい知識を学び、自分で考え自分らしく人生を歩んでほしいという願いとともに、卒業後も地域で見守ることができる環境を提供したいと考えています。



1年生では「命の尊さを学び、さまざまな性を受け入れる」、
 2年生では「自分に自信をもつ」、
 3年生では「将来設計～社会に出る前に～」というテーマで、
 年に1度、学年ごとに実施しています。

02 教育(キャリア教育)



本年度は「生徒の、生徒による、生徒のための学校」を実現するため、生徒一人ひとりが主体的に意思決定のできる能力や態度を育て、キャリア形成における自己実現を目指し、さまざまな教育活動に取り組みます。校外機関との連携を図り、本校独自のアクティブラーニングを充実させ、キャリア教育の推進を探索します。



03 まちづくり(ユニバーサルデザイン)



教育活動にユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、例えば、黒板周辺の掲示物の統一を図った教室環境の整備、生徒の視点や視線を考えた授業、授業展開の工夫等、誰もが見やすい、わかりやすいという取組を行っています。

▶実践例：特別支援学級による一人ひとりの成長に合わせた教材教具



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立宮原中学校



校訓 「夢ひとすじに」

<学校教育目標>

- 学 び 生活リズムを整え、主体的に学習し、授業と家庭学習を大切にできる生徒
- 磨 き 生命尊重の心、思いやりの心、感動する心、奉仕の心をもつ生徒
- 鍛 え 心身ともに健康で、努力を惜しまず、最後までやり抜く生徒
- 羽ばたけ 他者とのコミュニケーションを大切に夢と希望、自信と誇りをもてる生徒



■所在地：さいたま市北区宮原町 4-129 ■電話：048-663-0961

■FAX：048-663-9881 ■交通：JR 宮原駅西口徒歩 20 分

01 SDGs や人権感覚を養う学校環境の整備および授業の実践



(1)ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境の整備

- ・教室前面のレイアウトを全校統一とし、生徒が授業に集中できる教室環境整備
- ・SDGs や人権感覚を養う掲示物作成と掲示

(2)ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業展開の工夫

- ・豊かであたたかな人間関係を育むための日々の授業実践

(3)「総合的な学習の時間」を活用した SDGs の実践

- ・2 学年では、未来くるワーク体験を通して SDGs に関わる企業の取組や企業理念等を学び、SDGs に対する理解を深めていきます。
- ・1、2 学年では、校外学習や自然の教室の取組を通して SDGs に関連する学習活動（史跡・自然・歴史・郷土等を調べ、体験を通して学んだ内容の深化）を行います。
- ・3 学年では、義務教育最終年度の総仕上げとして SDGs をテーマにした卒業論文を制作します。



02 「誰一人取り残さない」生徒会組織を中心としたSDGsへの取組



11 の委員会活動を通して、SDGs の目標に迫る取組を行っていきます。

☆生徒会本部：基本理念「誰一人取り残さない」生徒会活動の推進

- ①学級委員会：目標 10、17 ②生活委員会：目標 10、16 ③体育委員会：目標 3
 - ④保健委員会：目標 3、6 ⑤美化委員会：目標 6、11 ⑥緑化委員会：目標 13、15
 - ⑦給食委員会：目標 2 ⑧放送委員会：SDGs の達成に向けた広報活動 ⑨安全奉仕委員会：目標 12
 - ⑩掲示委員会：SDGs や人権感覚を養う ⑪図書委員会：目標 4
- 学校環境の整備（掲示物作成と掲示） 図書館内へ SDGs の広報コーナーの設置



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



学校教育目標

「ひと」とともに生きる生徒の育成

＜具体目標＞確かな考え・深い思いやり・高い意欲

創立70年を迎え、目指す学校像を「古くて新しい植竹中の創造」、学校経営方針を「継承と創造」「凡事徹底」とし、これまでの歴史と伝統を継承しつつ、新たな創造に向けてチャレンジしています。



■所在地：さいたま市北区土呂町352

■電話：048-663-2115

■FAX：048-665-6377

■交通：JR 宇都宮線土呂駅西口から 徒歩 7分

01 SDGs を深める授業実践と生徒会組織の取組



社会科の公民的分野「私たちと国際社会の諸課題」の内容において、授業でレポートの作成を行います。内容は17のゴールについて各国、各企業等の取り組みを調べ、自分自身にできることを考えるというものです。また、生徒会を中心とした各専門委員会において、活動目標を17のゴールに関連したものに設定します。これらの取組を通して、グローバルな視点を持ち、自分ができる、身近なことから世界に貢献する意識を育てていきたいと考えています。

02 国際交流を通じた他国とのつながり



3年生の総合的な学習の時間において、国際理解教育を進め、各クラスに地域に住んでいる外国人の方を



招き、他国の文化や情勢について話を聞いたり、体験をしたりするなど交流を深めています。また、交流からお互いにどのようにすれば世界に貢献できるかを考えています。別の授業では、講話だけではなく疑似体験等を行うことで、世界の飢餓を世界的問題と捉え、「今自分にできること」をグループで考えています。これらの体験を通して、世界に貢献する意識を育てていきたいと考えています。

03 福祉体験を通じた地域への貢献



1年生の総合的な学習の時間において、福祉教育に取り組み、街のバリアフリーや障害者の方々



の目線に立った問題点等を話し合います。障害者歩行体験や車椅子体験等を通して、街の不便なところを知り、改善点を考えたり、校外学習において実際に街に出て、話し合った問題点を検証したりするなど、人々が住みやすい街について考えています。これらの体験を通じて地域に貢献する意識を育てていきたいと考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立泰平中学校



校訓 礼を正し 場を淨め 時を守る

学校教育目標 豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成

目指す学校像 季節の花と明るい挨拶にあふれ、
生徒一人ひとりの夢と生きる力を培う学校
—大好き TAIHEI—



■所在地：埼玉県さいたま市北区本郷町1991 ■電話：048-651-4134
■FAX：048-651-4626 ■交通：ニューシャトル今羽駅徒歩10分

01 [SDGs] 教育活動の実践



本校では、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた教育活動のさらなる実践を目指し、各学年において、ユニバーサルデザインの考えに基づいた目標を設定し、学級の環境づくりや明確なルールづくりに取り組んでいます。授業づくりでは、担当教科ごとにユニバーサルデザインの考えを取り入れた目標を設定し、授業構成の工夫や情報伝達の工夫、一人ひとりの学びへの対応に取り組んでいます。

(1) 刺激の少ない教室環境

- 黒板以外の情報を遮断するため、前面の掲示板上にカーテンを取り付け、授業中は遮断するようにしています。また、黒板上の掲示物は最小限にとどめています。必要な情報をピックアップしやすくすることで、集中して学習に取り組めるようにしています。



(2) 学年どこでも同じルールで生活をする。校則や日課表の見直しをする。

- 年度当初に、生徒全員に「生活のしおり」を配付し、ルールの確認等を行っています。学年や学級が変わっても、安心して生活できるようにしています。また、校則見直し、日課表の検討をし生徒の実態に寄り添った学校づくりをしています。



(3) 教育 DX の実践

- ICT を活用した個別最適な学び・協働的学びを実現し、誰ひとり取り残さない質の高い教育を目指します。
- 月に1度の校内研修を通じて、教職員のICTリテラシーを高める取組みを行っています。各教科の実践を共有することで教科を横断した教育を目指しています。

02 健康と環境に配慮した食に関する指導の実践



本校では、「主体的な給食活動の運営」「個に応じた主体的な健康づくり」「好ましい人間関係の育成」「勤労と感謝の気持ちを培う」ことを指導内容に掲げ、食に関する指導を実践しています。1年生では、食事の基本である、清潔な環境を整える必要性を知ること、2年生では、人間関係を豊かに

するための食事関係の工夫や基本的な食事マナーを身につけること、3年生では、卒業後の将来に目を向け、より好ましい環境や人間関係をつくることを目標としています。

(1) 地元シェフによる給食や小学校と連携した食育

- 「ホテルプリランテ武蔵野」のシェフによる「シェフ給食」の実施や、小学校と連携して同日に同じ献立の給食を提供する「つぼみの日献立」、家庭科の授業で生徒が考えた献立を取り入れる取り組みなど、献立内容を豊かにすることで、体も心も健康になる学校給食を目指しています。

(2) 無駄を減らすことを目指した生徒の活動

- 給食委員会では残食ゼロを目標に、準備や片付けを効率的に行えるようなサポートや残さず食べるように声かけなどを行っています。また、全校で牛乳パックのリサイクル活動に取り組み、環境に配慮した給食時間を過ごしています。

03 生徒会組織を中心としたSDGs への取組



8つの委員会活動を通して、SDGs の目標に迫る取組を行っています。

- ①学級委員会：10、16 ②生活委員会：10、16 ③体育委員会：3 ④保健委員会：3、6
⑤給食委員会：2 ⑥図書委員会：4 ⑦放送委員会：4 ⑧美化委員会：6、13

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



学校教育目標 主体的に生きる人間の育成—意欲・健康・豊かな心—
 <意欲>「何事にも意欲的に取り組む生徒」
 <健康>「たくましい身体と強い意志をもつ生徒」
 <豊かな心>「相手を思いやり、豊かな人間性をつくることのできる生徒」



■所在地：さいたま市北区見沼3丁目75番地 ■電話：048-654-5100
 ■FAX：048-654-5115 ■交通：JR土呂駅徒歩12分、東大宮駅より徒歩14分

01 ユニバーサルデザインと掲示教育の充実



ユニバーサルデザインの考えを取り入れ、黒板周辺の情報量の調整・整理、カテゴリー化された掲示物等、土呂中スタンダードに沿って進めています。

各学級は、発達段階や集団構造があるので、同一学年でも独自の創意と特色が生まれるような工夫も行っています。



教室前面の掲示板は固定 (授業中はカーテンで覆う)	学校・学年目標、時間割表、日課表、給食関係棚の横にホワイトボード、スクールタイマー固定
教室後面の掲示板 (例)	いじめ撲滅宣言、学級・委員・係名、生徒の個人目標、生徒の作品、学校・学年行事・進路等
教室側面の掲示板 (例)	4つの言葉、班活動・委員会活動に関する物 各種たより、委員会報告、学習コーナー

02 雨水を利用した校庭のビオトープづくり



平成9年テニスコート北側に「彩の国森づくり事業」の一環で学校ビオトープが完成しました。以来23年の時を受け継がれたビオトープは、現在、科学部の生徒の調査と研究の場となっています。雨水の利用や酸素を送り込む工夫を行い、水質を保ち魚が棲みやすい環境づくりをしています。土呂中のビオトープを環境教育の未来に繋げ、学校全体で守っていきたいと考えています。

03 学校・PTA と共にリサイクル活動の推進



給食牛乳パックの再利用やゴミの分別の徹底、裏紙の利用を通して資源を大切にする教育活動を行っています。

PTAでは、年間2回「標準服リサイクル品販売」を行い、生徒が着用しなくなった制服・体育着等を低価で譲ることで利用者にたいへん喜ばれています。